

令和8（2026）年度事業計画について

1. 助成金事業

- 1) 三菱 UFJ 環境財団、苗木寄贈助成（毎年受領）本年から40万円に引き上げられた。既に実施した事業である。
 - ① 場所：県有地有度山北麓里山林再生ゾーン（谷田地区）
 - ② 第4次植樹活動（既竹林伐採整備地1000㎡）
 - ③ 日時：2026年4月18日（土）
 - ④ 要員：26人（パソナ社員の協力を得た）
 - ⑤ 苗木：ポット苗450本（タブノキ、スダジイ、白樫、赤樫、藪椿、モチノキ）、植林苗150本（コナラ、クヌギ、山桜）、根巻き苗8本（樺、イロハ紅葉）、大型ポット苗4本（白樫）、計612本植栽。
 - ⑥ 報道：4月19日付け静岡新聞記事



- 2) 三菱 UFJ 信託銀行扱い、しずぎんふるさと環境保全基金から助成金10万円受給。ポット苗代金に充当。タブノキ、スダジイ、白樫、粗樫、赤樫、藪椿、シロダモ、モチノキ各20本。三菱環境財団苗木寄贈助成に加えて26年4月18日同時に植栽した。
- 3) イオン環境財団第35回活動助成認可。助成金90万円
 - ① 場所：県有地有度山北麓里山林再生ゾーン（谷田地区）軍田ヶ谷側放任竹林帯（急斜面）。既に昨年秋から先行的に伐採作業を継続しており、一部谷底まで伐採した。



静岡大学 GG サークル来訪記写真 (4/12)

- ② 第1次広葉樹植栽日：2026年11月23日（日）予定、伐採整備跡地に広葉樹（常緑樹、落葉樹の混植）500本植栽予定。
 - ③ 第2次広葉樹植栽日：27年3月14日（土）予定、新たな伐採整備跡地に500本植栽予定。
 - ④ 苗木：ポット苗640本（スタジイ、楠、白欒、粗欒、赤欒、藪椿、シロダモ、モチノキ）、落葉樹360本（山桜、クヌギ、コナラ、欒、イロハ紅葉、楓、山栗）。
- 4) 公益財団法人静岡県グリーンバンク
「森づくりグループ活動支援事業」助成金25万円、6月3日認可。
- ① 場所：川合山、新たな竹林伐採地約 330㎡
 - ② 伐採整備作業：2026年11月～2027年1月
 - ③ 植樹：2027年2月初旬予定
- 5) 税金による「森の力再生事業」参画準備期間とする：可能性のハードルは高いが。
- ① 対象地：川合山大地主所有地、土地使用協定書締結
 - ② 対象面積：最低単位1000㎡
 - ③ 農業委員会関与：大半が畑地→5条森林へ移行手続き
2026年8月までに申請→認可27年4月頃
 - ④ 「森の再生事業」の対象になるか、否か。
現在のところ五分五分といったところ。
審査員（静岡大学教授）の意見を聞いてみる予定。
 - ⑤ 各ハードルをクリアできれば、来年度申請可能。
 - ⑥ 1000㎡当り60万円の予算付与。

- ⑦ 動員数300人分の手当となる。
- ⑧ 苗木費用：別に助成金の必要あり。
- ⑨ 保険：ボランティア保険→勤労保険

2. 独自活動

1) ポロタン栗苗木（家栗）植栽（2026年4月18日実施）。

- ① 地区：県有地有度山北麓里山林再生ゾーン（谷田地区）
第4次植樹地の隣接地
- ② 目的：幼稚園生等に栗拾いを楽しんでもらうため。
- ③ 場所：ハイキングルート沿いに13本植栽した。
（3年で栗が取れる）
- ④ 下草刈：幼児の環境教育を担当するNPOと共同で行う。

2) 第2回樹木学研修会

- ① 場所：山犬段 静岡大学演習林施設ほか 半日予定
- ② 講師：飯尾教授
- ③ 日時：未定（但し、2026年10月、紅葉の時期）
- ④ 集合：川根本町市役所駐車場 9時
- ⑤ 費用：参加者2000円
- ⑥ 持参：弁当、飲み物
- ⑦ 解散：午後3時頃 大札山駐車場
- ⑧ 車 ； 乗合
- ⑨ 募集人員：20人
- ⑩ 主催：NPO 法人 静岡山の文化交流センター
- ⑪ 目的：当地の主要樹木に関する説明、解説

平地と山地の境の位置する川根本町には、20種類を超える楓があると言われるほど、豊かな樹木の垂直分布が見られる。この地を標高1400mから降りながら実態観察し、主要樹木の生態説明、解説を受ける研修である。

3) 井川地区のランドデザインに関する課題検討について。

リニア問題が一段落しそうな今、今後の井川をどのような拠点に位置付けするか、静岡市企画局、一般財団法人南アルプス未来財団等の関係者と協議して、早急にランドデザインを

描く検討会を立ち上げたいと考えている。
井川の木質エネルギーの里構想等、検討すべき課題は多い。



井川湖に面した井川集落

以上